

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No309

(新著の紹介)

学校教育目標（スクール・ポリシー）のアセスメントと カリキュラム・マネジメントの組織化に向けてー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>

E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

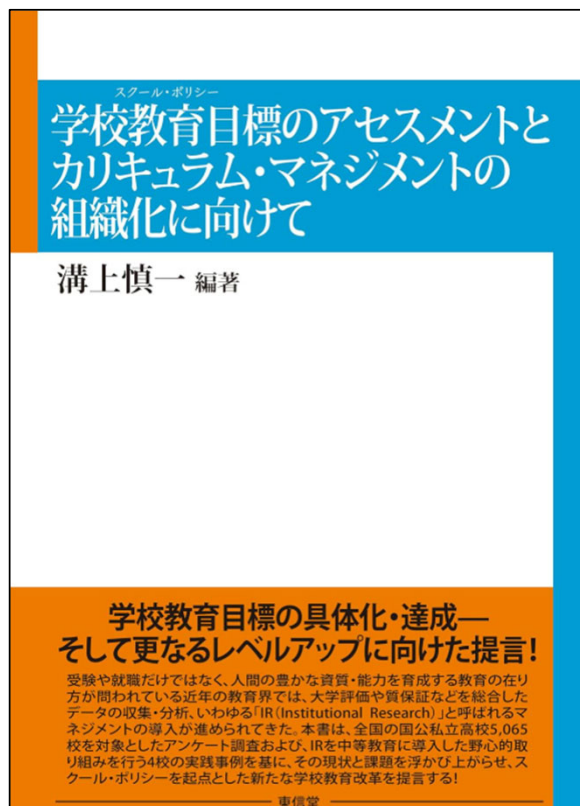
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の委託事業を受けて営まれています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

(新著の紹介)



溝上慎一 (編) (2024). 学校教育目標 (スクール・ポリシー) のアセスメントとカリキュラム・マネジメントの組織化に向けて— 東信堂 (2025年1月20日)

第1章 理論

第2章 学校教育目標のアセスメントとカリキュラム・マネジメントの組織化に向けた実践的提案

第3章 アンケート調査から見る全国高校のスクール・ポリシー体制、データ・マネジメントの実態

第4章 事例

事例1 桐蔭学園高等学校・中等教育学校 (川妻篤史)

事例2 大手前高松中学・高等学校 (合田意)

事例3 富士市立高等学校 (滝陽介・斉藤雅)

事例4 品川女子学院中等部・高等部 (山本はるか・山崎碧)

本書のポイント

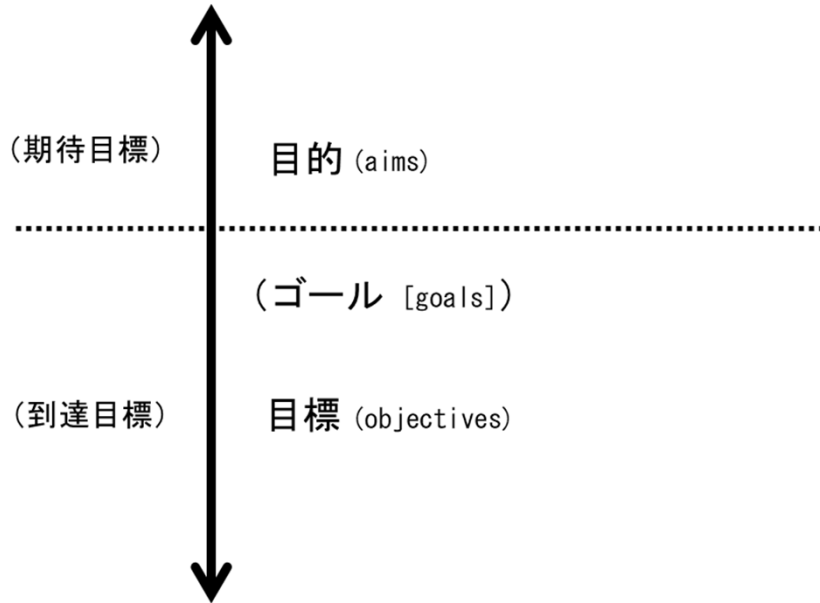
- ① 学校教育目標を測定可能な資質・能力の目標へと変換し、その達成の程度をカリキュラム・アセスメントすること
- ② ①の過程や結果を学校の教職員と共有し、カリキュラム・マネジメントとしての実践的組織化を図ること

<補足>

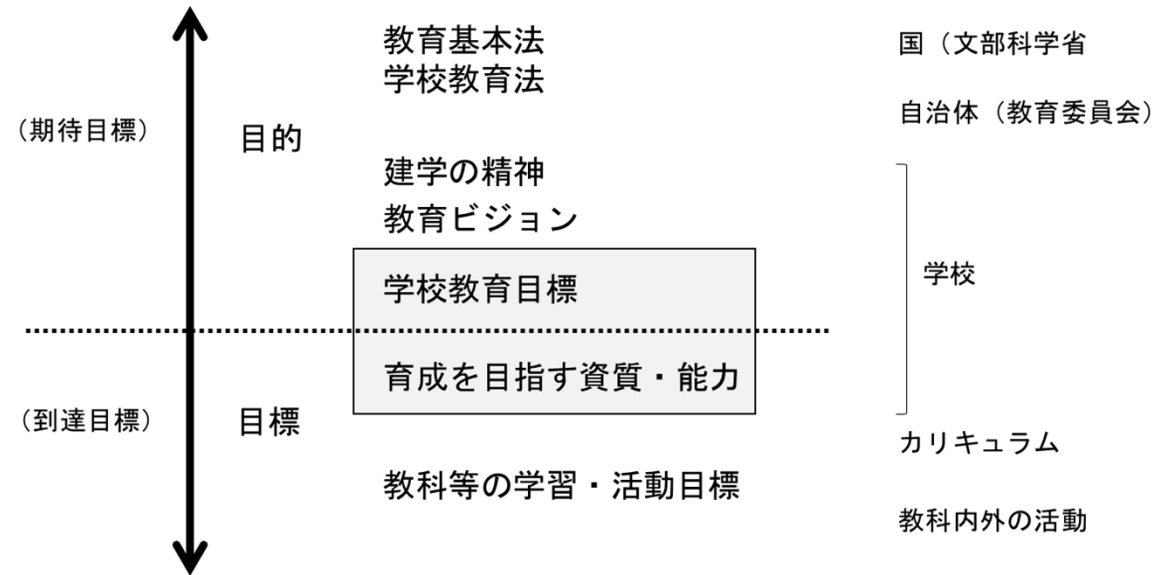
- ・ 高校教育の学校教育目標>スクール・ミッション、スクール・ポリシー
- ・ カリキュラム・アセスメント
- ・ カリキュラム・マネジメントは「学校教育目標」を起点とする
 - >教科等横断、地域等の外部との連携 を行うことがカリキュラム・マネジメントではない

(第1章)

学校教育目標の位置づけ

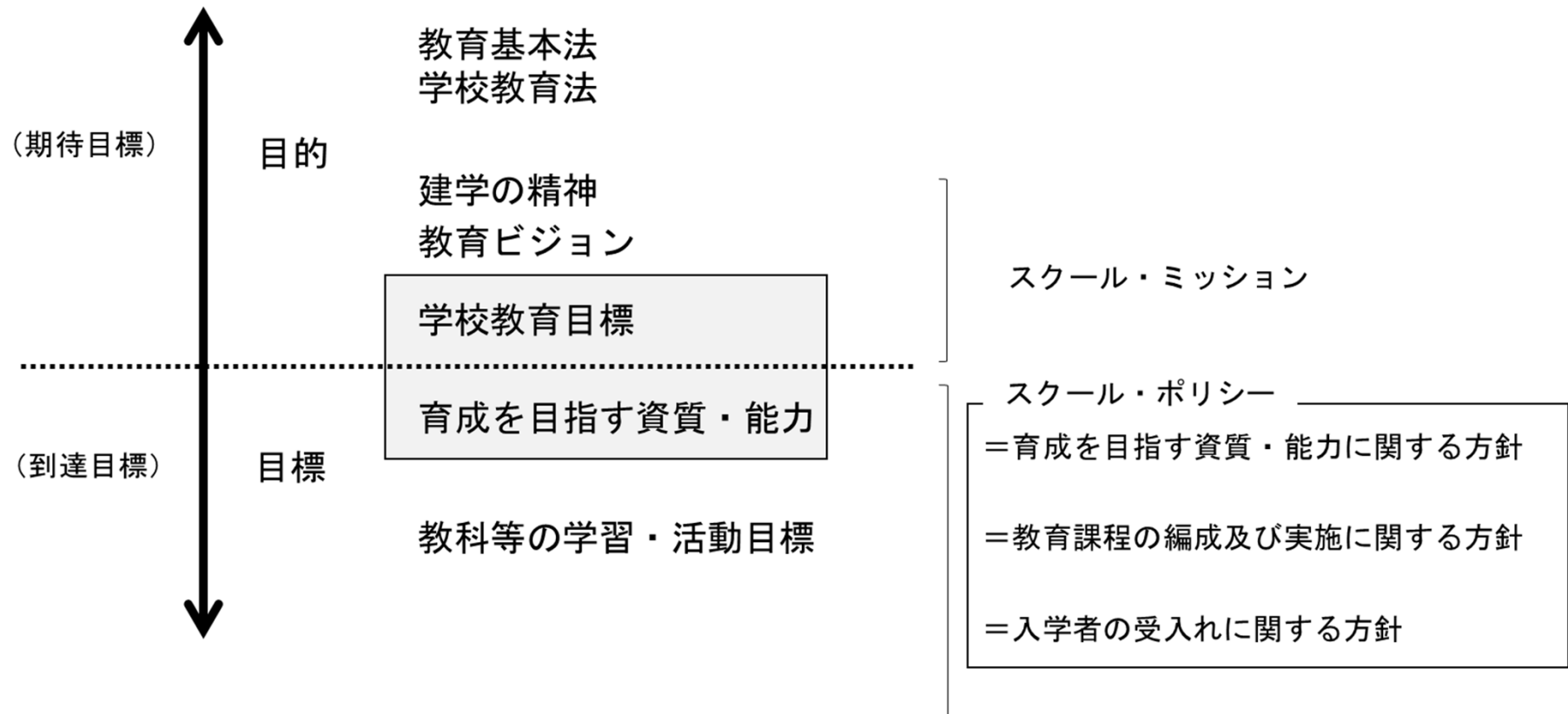


図表 目的・ゴール・目標の関連

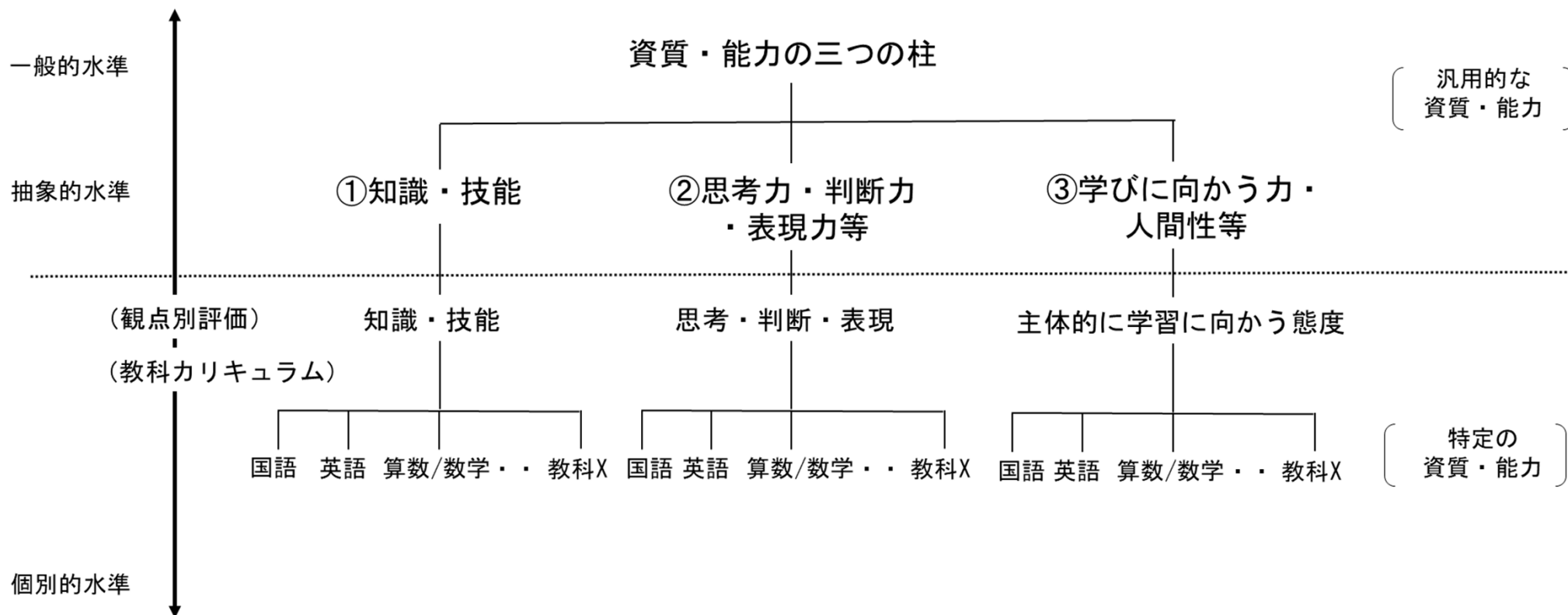


図表 目的・目標の近接概念の関連

学校教育目標とスクール・ポリシー



「汎用的な資質・能力」と「特定の資質・能力」



(第2章)

実践的提案

＜ポイント1＞実践可能な学校教育目標を策定すること

＜ポイント2＞1に連動させる形で、育成を目指す資質・能力を策定すること

＜ポイント3＞データ・エビデンスによって育成を目指す資質・能力をアセスメントすること

＜ポイント4＞1～3を学校のスクール・マネジメントとして組織的に実践すること

＜ポイント1＞実践可能な学校教育目標を策定すること

＜ポイント2＞1に連動させる形で、育成を目指す資質・能力を策定すること

実践的提案

＜ポイント1＞実践可能な学校教育目標を策定すること

＜ポイント2＞1に連動させる形で、育成を目指す資質・能力を策定すること

＜ポイント3＞データ・エビデンスによって育成を目指す資質・能力をアセスメントすること

＜ポイント4＞1～3を学校のスクール・マネジメントとして組織的に実践すること

学校教育目標

社会に生きる主体として自ら考え判断し、行動できる
資質・能力の育成

育成を目指す資質・能力

- ・他者を承認した上で、多様な人たちと協働できる
- ・学び続け問い続けながら、探究することができる
- ・自己を知り、将来の見通しを持って自らを高めること出来る
- ・未知に挑み、出会いを生かして世界を広げることができる

（事例1）桐蔭学園中等教育学校・高等学校

学校教育目標

不確実な状況でも柔軟に、当事者としてこれからの社会に貢献できる人

育成を目指す資質・能力

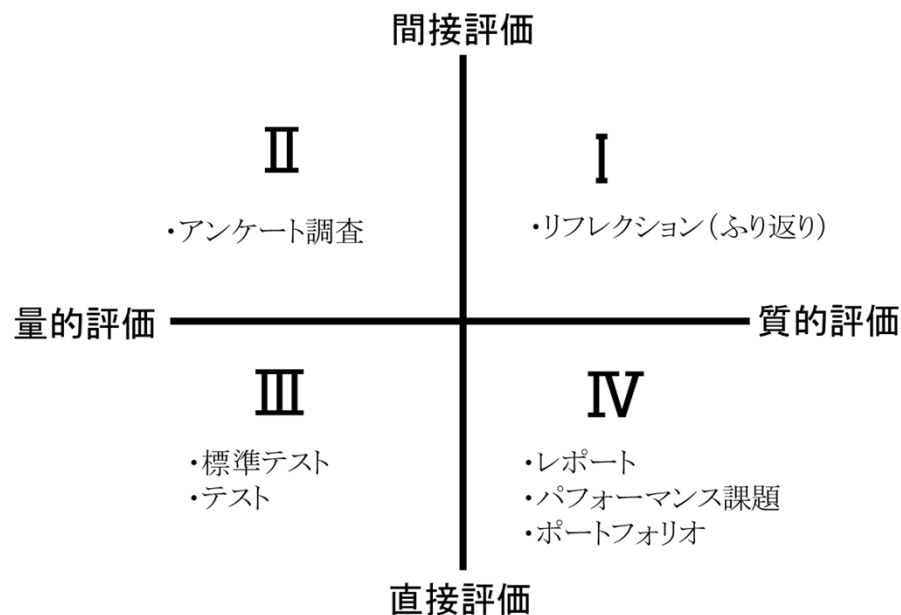
- ・見通しを立てる
- ・行動を起こす
- ・内省する
- ・協働的に課題解決に挑戦できる

（事例2）大手前高松中学・高等学校

<ポイント3>データ・エビデンスによって 育成を目指す資質・能力をアセスメントすること

(1) データ・マネジメント — 高等教育のIRを参考にして

(2) 学習成果の評価の4つのタイプ



実践的提案

<ポイント1> 実践可能な学校教育目標を策定すること

<ポイント2> 1に連動させる形で、育成を目指す資質・能力を策定すること

<ポイント3> データ・エビデンスによって育成を目指す資質・能力をアセスメントすること

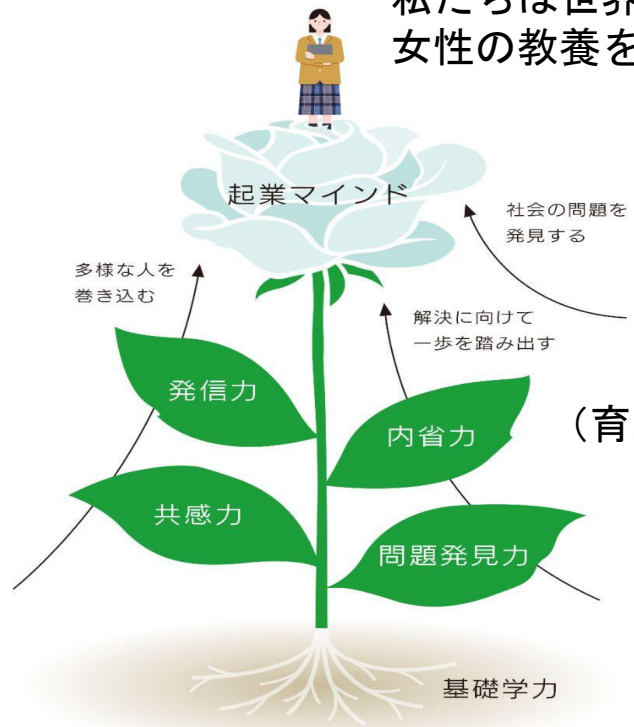
<ポイント4> 1~3を学校のスクール・マネジメントとして組織的に実践すること

(事例) 品川女子学院のカリキュラム・マネジメント

(品川女子学院で育てたい力)

(スクール・ポリシー)

私たちは世界をこころに能動的に人生を創る日本女性の教養を高め、才能を伸ばし、夢を育てます。



(育成を目指す資質・能力)

- ①問題発見力
- ②共感力
- ③発信力
- ④内省力

各能力の学年別平均 第2回

	問題発見力	共感力	発信力	内省力
1年	1.51	2.05	1.42	1.61
2年	1.52	2.3	1.38	1.71
3年	1.57	2.32	1.44	1.75
4年	1.66	2.34	1.55	1.8
5年	1.82	2.41	1.62	1.82

起業マインド検定 Score Report 2022

起業マインドとは、品川女子学院で育成したい資質の力の総称です。起業マインドは、問題発見力、共感力、発信力、内省力、基礎学力の5つで構成されています。

1. 2022年度の結果

	問題発見力	共感力	発信力	内省力	基礎学力
あなたの得点					
学年平均					

★定義★
 問題発見力：身近な興味関心から社会に関わる問題を発見する。
 共感力：他者に共感できず、他者の立場や考えから影響を受けながら自分の意見を表現する。
 発信力：自分の意見やアイデアを提案し、他者に影響を与える力。
 内省力：自分の行動を振り返り、将来に向けた行動を見つける力。

	3点	2点	1点	0点
問題発見力	身近な興味関心から社会に関わる問題を発見し、提案も行うことができる。	身近な興味関心から社会に関わる問題を発見する。	身近な興味関心から社会に関わる問題を発見する。	身近な興味関心から社会に関わる問題を発見する。
共感力	他者の立場や考えを尊重し、自分の意見やアイデアを提案する。	他者の立場や考えを尊重する。	他者の立場や考えを尊重する。	他者の立場や考えを尊重する。
発信力	自分の意見やアイデアを提案し、他者に影響を与える。	自分の意見やアイデアを提案する。	自分の意見やアイデアを提案する。	自分の意見やアイデアを提案する。
内省力	自分の行動を振り返り、将来に向けた行動を見つける。	自分の行動を振り返る。	自分の行動を振り返る。	自分の行動を振り返る。

2. 起業マインドで見たわたしの強み・弱み

レーダーチャートであなたの「起業マインド」を可視化し、強みと弱みを確認しましょう。

★基礎学力は5.0～5.5点、3～2点、1～0点、0～1点、0～1点とします。

3. 2022年度に向けた振り返り・目標

今日は基礎学力以外の4つの力（問題発見力・共感力・発信力・内省力）に注目し、振り返っていきましょう！

★わたしの強みは **共感力** だ
 強みが発揮できる場面は、自分と1つ違っていて、他者の立場や考えから考えることだ。

★わたしの強みは **発信力** だ
 強みが発揮できる場面は、自分と1つ違っていて、他者の立場や考えから考えることだ。

★内省
 2022年度が終わるまでに1つ以上の目標を設定し、達成できるように頑張ります。
 独学のクレーンゲームは、もう1人誰かがいると、練習ができて、すぐに上手くなる。勉強を誰かと一緒にやることで、自分のペースで進めることができる。勉強を誰かと一緒にやることで、自分のペースで進めることができる。

今年度は自分の強みと弱みを振り返り、自分の意見やアイデアを提案し、他者に影響を与える。振り返り、自分の行動を振り返り、将来に向けた行動を見つける。

実行すれば、内省力と発信力の両方が伸びる！

生徒の自己評価 ((個票))

<ポイント4> 1～3を学校のスクール・マネジメントとして組織的に実践すること

実践的提案

<ポイント1> 実践可能な学校教育目標を策定すること

<ポイント2> 1に連動させる形で、育成を目指す資質・能力を策定すること

<ポイント3> データ・エビデンスによって育成を目指す資質・能力をアセスメントすること

<ポイント4> 1～3を学校のスクール・マネジメントとして組織的に実践すること

(事例2) 大手前高松中学・高等学校

(事例3) 富士市立高等学校

(事例4) 品川女子学院中等部・高等部

→に組織的な説明、共有、思考のプロセスが詳細に報告されています

学力の三要素をアセスメントする 河合塾「学びみらいPASS」

①教科学力（英語・数学・日本語）

→○（高）、△（低）に分類

②リテラシー

- ・情報収集力
- ・情報分析力
- ・課題発見力
- ・構想力

→○（高）、△（低）に分類

③コンピテンシー

- ・対人基礎力
- ・対自己基礎力
- ・対課題基礎力

→○（高）、△（低）に分類



河合塾 河合塾グループ

サイトマップ 入塾総合案内

河合塾グループについて 進学教育事業 教育活動支援事業 教育研究開発活動 社会へ向けた取り組み (SR) 採用情報

河合塾グループ > 教育研究開発活動 > 学びみらいPASS

学びみらいPASS

高校生版アセスメントテスト

学びみらいPASS

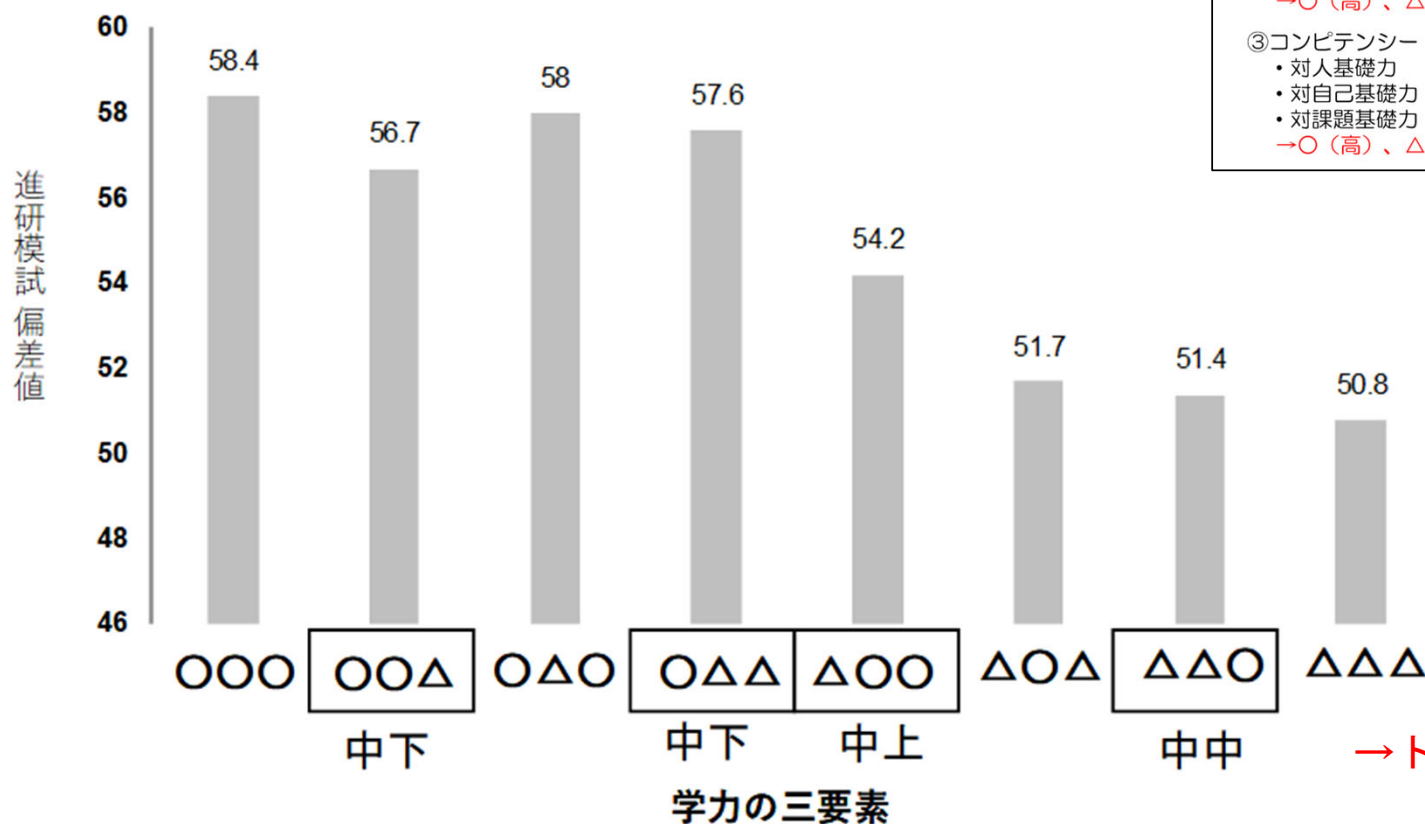
高校生の『納得のいく未来づくり』を支援する

「学びみらいPASS」は、生徒たちの進路に関わる興味・関心をひろげ、“変化の時代”に求められる学び続ける力を客観的に測定するアセスメントテストです。

- ・ 学びみらいPASSとは
- ・ アセスメントテスト内容

私と河合塾
OB・OGが語る河合塾

教科学力（模試）との関連



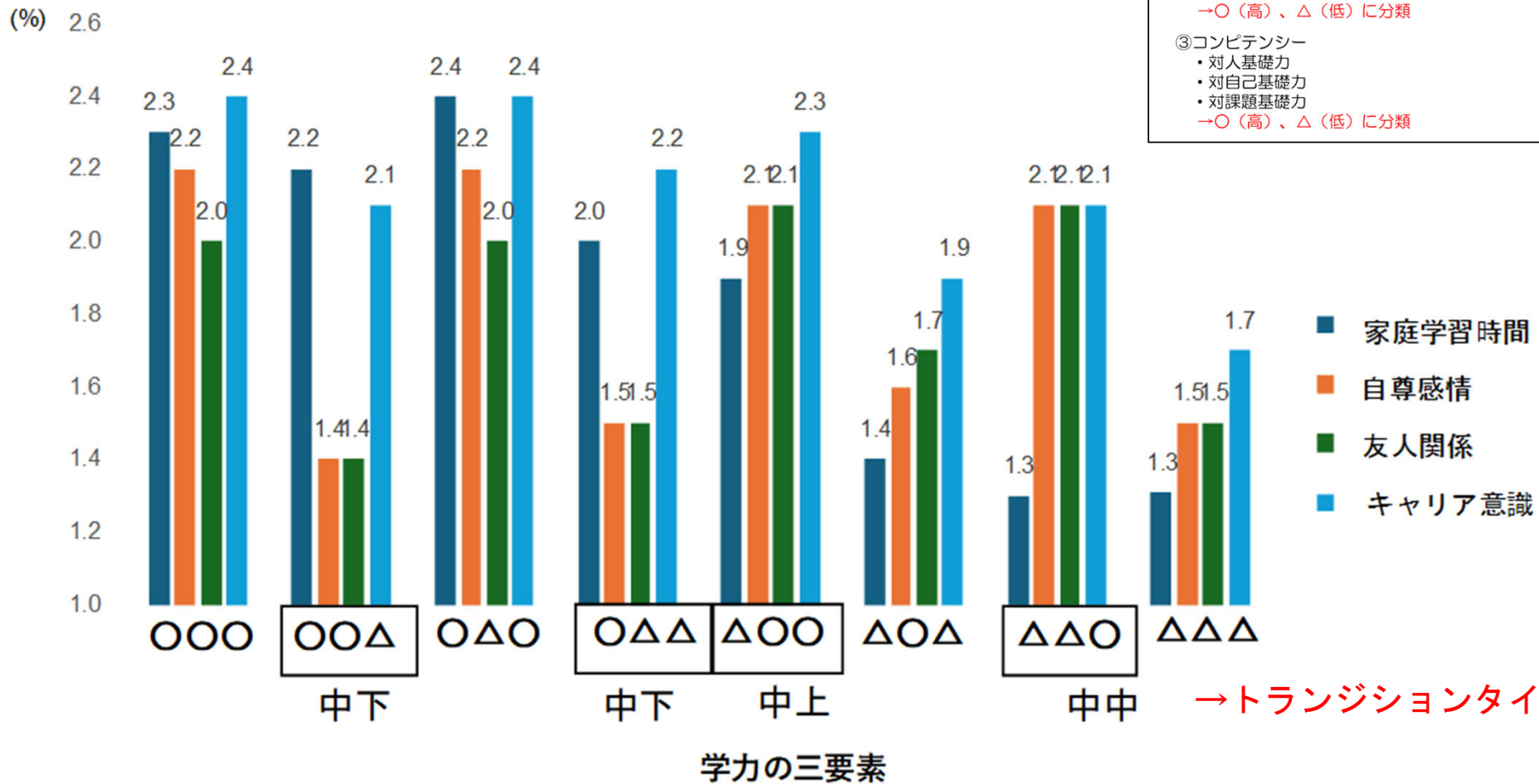
学力の三要素をアセスメントする
河合塾「学びみらいPASS」

- ①教科学力（英語・数学・日本語）
→○（高）、△（低）に分類
- ②リテラシー
 - ・情報収集力
 - ・情報分析力
 - ・課題発見力
 - ・構想力
 →○（高）、△（低）に分類
- ③コンピテンシー
 - ・対人基礎力
 - ・対自己基礎力
 - ・対課題基礎力
 →○（高）、△（低）に分類



→トランジションタイプへの変換

非認知能力との関連



学力の三要素をアセスメントする
河合塾「学びみらいPASS」

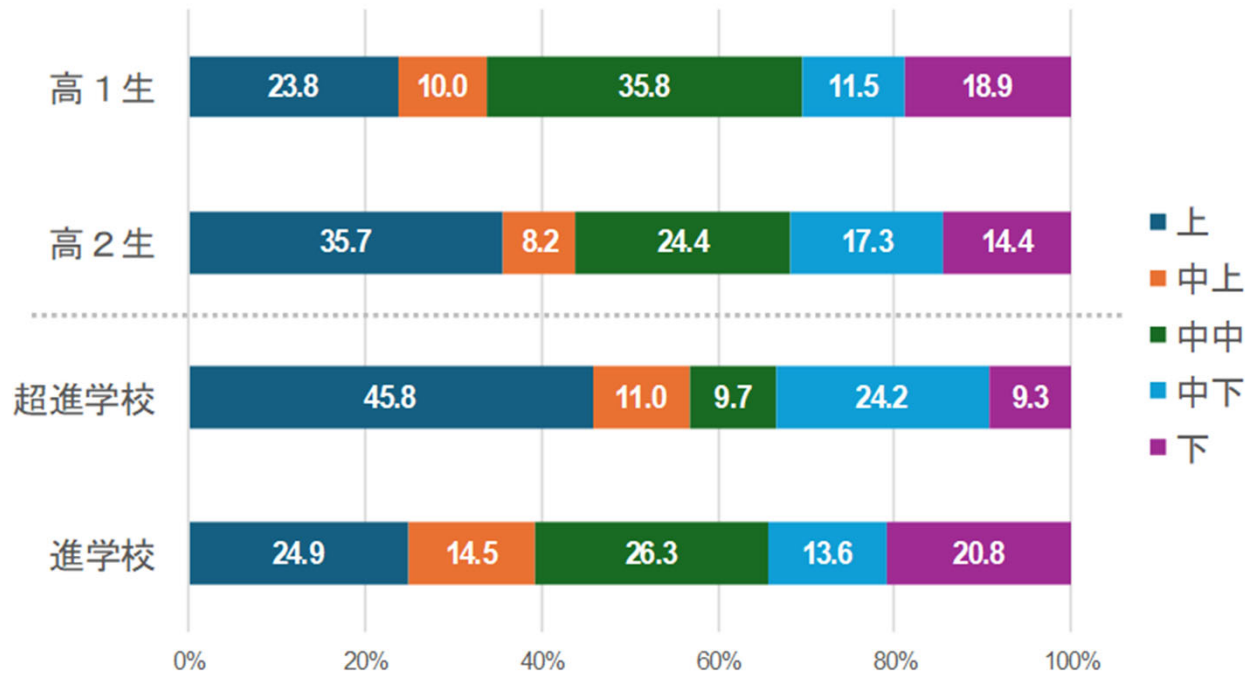
① 教科学力 (英語・数学・日本語)
→ O (高)、Δ (低) に分類

② リテラシー
・ 情報収集力
・ 情報分析力
・ 課題発見力
・ 構想力
→ O (高)、Δ (低) に分類

③ コンピテンシー
・ 対人基礎力
・ 対自己基礎力
・ 対課題基礎力
→ O (高)、Δ (低) に分類

→ トランジションタイプへの変換

桐蔭学園のトランジションタイプ



※2018年度のデータを使用

学力の三要素をアセスメントする
河合塾「学びみらいPASS」

①教科学力（英語・数学・日本語）
→○（高）、△（低）に分類

②リテラシー
・情報収集力
・情報分析力
・課題発見力
・構想力
→○（高）、△（低）に分類

③コンピテンシー
・対人基礎力
・對自己基礎力
・対課題基礎力
→○（高）、△（低）に分類



ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

